

2020年12月31日

北海道新幹線の高速営業運転の一部とりやめについて

JR北海道では2020年12月31日（木）～2021年1月4日（月）の5日間、上下各7本、合計14本の新幹線が青函トンネル内を時速210kmで営業運転する予定でしたが、本日（12月31日）は青函トンネルの下り線において確認車による確認行為が十分に行えなかったことから、以下の新幹線7本は通常速度である時速160kmで運転いたしました。

【高速営業運転を行わなかった列車】

（新函館北斗行き）

はやて91、93号、はやぶさ95、1、7、13、19号

原因は新幹線高速走行に支障がない状態を確認する確認車が誤検知し、建築限界外側の設備を内側にあると判断した箇所が発生したためです。

誤動作した箇所は9か所で、現地に社員が向かい設備が建築限界の外側にあり安全であることを確認してから、本日の新幹線を運転開始しましたが、確認行為に時間を要し青函トンネル内下り線の全区間において確認車走行による確認ができなかったため、通常速度である時速160kmでの運転を実施しました。

確認車は本日中に調整し、本日（12月31日）夜半から明日（1月1日）未明にかけて運転し、新幹線高速走行の安全性確認を行います。

明日（1月1日）から1月4日まで、以下の新幹線（14本）が当初計画どおり青函トンネル内を時速210kmで営業運転する予定です。

（上り：東京行き、7本）

はやぶさ10、14、18、22、28、32、34号

（下り：新函館北斗行き、7本）

はやて91、93号、はやぶさ95、1、7、13、19号